科目名	フレッシャーズセミナー						年度	2025	
英語科目名	Freshers seminar							学期	前期
学科・学年	応用生物学科 1年次	必/選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	森内 寛		教員の実務経験		無	実務経験の職種		無	

【科目の目的】

応用生物学科は医薬・化粧品、食品、環境管理分野への就職を目指す学科であるが、本学科での学習内容や目指す業界に向けて すべき活動などについて学び、卒業までの2年間のキャリアデザインを行う。

【科目の概要】

本学科で学ぶ意義を理解し、学びの概要を知り、2年間のキャリアデザインを行います。

【到達目標】

- A. 授業にはすべて出席する必要がある。体調管理を万全に整え、遅刻欠席のないように務めることができる。 B. 応用生物学科での学びについて理解する。 C. 応用生物学科での2年間についてキャリアデザインを行う。

【授業の注意点】

自発的で積極的な態度で受講する事を希望する。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができない。

		No.	3.3				
評価基準=ルーブリック							
ルーブリック	レベル 5 レベル 4		レベル3	レベル2	レベル 1		
評価	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力		
到達目標 A	本科目の授業に無遅刻・無欠席である。	本科目の授業に1回だ け遅刻した。	本科目の授業に2回以 上遅刻または1日欠席 した。		本科目の授業に3日以 上欠席した(出席時数 の4分の3以上出席し ていない)。		
到達目標 B			応用生物学科での学び について理解し、説明 できる。				
到達目標 C	2年間のキャリアデザ インを完成させている	2年間のキャリアデザ インを概ね完成させて いる	2年間のキャリアデザインは完成させていないが、目標は考えている。	いくつかの日標かめる	2年間のキャリアデザ インについて考えられ ていない。		

【教科書】

なし

【参考資料】

必要に応じて、プリントを配布する。

【成績の評価方法・評価基準】

授業への出席率と授業態度、提出物により総合的に判断する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		フレッシャーズセミナー Freshers seminar				
英語表記			学期	1	期	
回数	授業テーマ	各授業の目的 授業内容 到達目標=修得するスキル			評価方法	三部
1	1 応用生物学科の学 生として① 2	授業態度とマナー -	1 授業におけるマナー 授業を受けるにあたってのマナーについて理解	解できる	1	
2			2 授業態度 正しい授業態度を理解し、実践できる。		1	
3	応用生物学科の学	実験科目でのマナー	1 実験科目でのマナー 実験科目において実技指導を受ける際に守るについて理解する	べき注意点	1	
4	生として②		2 授業態度 正しい実験科目の授業態度を理解し、実践で	きる。	1	
5	応用生物学科の学 び①	基礎科目 ——	1 専門科目と基礎科目 応用生物学科で学ぶ基礎科目と専門科目の関係 きる。	系を理解で	1	
6			2 基礎科目の概要 応用生物学科で学ぶ基礎科目の概要を理解で	きる。	1	
7	7 応用生物学科の学 び② 8	医薬品業界の学び	1 医薬系専門科目の概要 医薬系専門科目で学ぶ基礎科目の概要を理解	できる。	1	
8			2 医薬業界の就職 医薬業界の就職について理解できる。		1	
9	応用生物学科の学 び3		1 化粧品系専門科目の概 化粧品系専門科目で学ぶ基礎科目の概要を理解	犀できる。	1	
び③ 10		2 化粧品業界の就職 化粧品業界の就職について理解できる。		1		
11	応用生物学科の学 び④	学 食品業界の学び ――	1 食品系専門科目の概要 食品系専門科目で学ぶ基礎科目の概要を理解	できる。	1	
12			2 食品業界の就職 食品業界の就職について理解できる。		1	
13	2年間のキャリア	自身の2年間のキャリ	1 自身の目標の設定 目指す業界を定め、目標に向けての課題を設定	宦できる。	1	
デザイン 14	アデザイン	2 キャリアデザイン 2年間のキャリアデザインができる。		1		
15	まとめ	第1回から14回までの 内容を総復習する。	第1回から14回までの 内容を総復習する。 第1回から14回までの内容を理解している。		1	

評価方法:1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった

備考 等